

保持力

Holding Power

保持力とは、粘着テープが「その場に留まろうとする」力を示す。

言わば、荷重に対しての「抵抗力」とも表現でき、粘着剤の「硬軟」や「温度に対する安定性」の指標にもなる。

一般的に性能の優劣を判断する場合、接着力を重視しがちだが、保持力は粘着剤のクリープ（Creep、流動）特性が解るため、性質を知る上で非常に重要な項目である。

試験方法（定常流粘度計測）

試験片は幅 25 mm、長さ 130 mmに切断し接着力の試験同様、試験板を準備する。

準備した試験板の一端に、試験片の端「25 mm×25 mm」の部分貼り付け、1 kg ローラーで一往復圧着する。

圧着後 $23 \pm 2^\circ\text{C}$ の温度下で 1 時間放置、所定の時間が経過したら試験片の下端に $9.8 \pm 0.049\text{N}$ の重りを吊り下げ、重りが「落下した」時間、または「ズレ」が生じた距離を計測する。

また 23°C 以外の温度域で試験を行った場合は温度条件を、荷重を変更した場合は荷重を明記する。 $(9.8\text{N} \approx 1.0\text{ kg})$

